

「米粉推進情報交換会」

～持続的な米粉の利用拡大を目指して～



－開催主旨－

米粉については、従来から使用されてきた和菓子・米菓用の使用量は年間約3万2千トンで推移しています。他方、平成22年度から本格的に取り組まれている新規需要米のうち米粉用米の生産量は約4万トン（平成23年度）まで増加しているものの、我が国の水田を有効に活用するためには、米粉の一層の利用拡大が重要な課題となっています。

このため、生産者・実需者・消費者等を交えて、米粉の利用動向と今後の展望等情報の提供を通じて、関係者の相互理解を深めるとともに、出席者の情報交換を図ることを目的として、「米粉推進情報交換会」を開催します。米粉に興味のある方を始め、多数のご参加をお待ちしております。

開催日：平成24年4月26日（木） 13：00～16：30（受付：12：20～）

参加費無料

会場：岡山第2合同庁舎2F第2会議室（中国四国農政局）
岡山市北区下石井1-4-1 電話（086）224-4511（代）

定員：130名

主催：中国四国農政局、中国四国米粉食品普及推進協議会

後援：岡山県、高知県、岡山県米消費拡大推進協議会、全国農業協同組合連合会岡山県本部、
岡山市米粉推進連絡協議会、新見市米粉利用促進協議会、赤磐商工会米粉活用促進委員会
（順不動）

同時開催：米粉食品等の展示
12:20～16:30

1 基調講演

●「米粉の更なる利用拡大を推進するための方策について」

財団法人 日本穀物検定協会 参与

NPO法人 国内産米粉促進ネットワーク副理事長

萩田 敏 氏

2 取組事例

(1)「新規需要米(米粉用)の生産、利用の現状と課題について」

JA出資型農業生産法人 株式会社 れいほく未来 専務

長野 進 氏

(2)「地域段階での米粉の普及拡大の取組の現状と課題について」

岡山県農山漁村生活交流グループ協議会副会長
真庭地方農村生活交流グループ協議会長

大石 清子 氏

3 情報提供

●「米粉の利用拡大について」

農林水産省生産局農産部穀物課課長補佐（新用途米穀推進班） 石山 正美 氏

4 パネルディスカッションと全体討論

●「川上から川下へ、持続的な米粉の利用拡大をどのように目指すべきか」

◇コーディネーター：萩田 敏 氏（財団法人 日本穀物検定 参与、NPO法人 国内産米粉促進ネットワーク副理事長）

◇パネラー：長野 進 氏（JA出資型農業生産法人 株式会社 れいほく未来 専務）

：大石 清子 氏（岡山県農山漁村生活交流グループ協議会副会長、真庭地方農村生活交流グループ協議会長）

：石山 正美 氏（農林水産省生産局農産部穀物課課長補佐（新用途米穀推進班））

：向畑 宣秀 氏（中国四国米粉食品普及推進協議会長）

「別添参加申込書」



中国四国農政局生産部生産振興課流通改善係 あて
(F A X 番号 0 8 6 - 2 3 2 - 7 2 2 5)

「米粉推進情報交換会」参加申込書

申込締切：平成24年4月16日(月)

住 所	
所属機関 / 職名	
氏 名	
電 話 番 号	
返信用 F A X 番号 (無い場合はメールアドレス)	

参加申込書にご記入頂きました個人情報については、本交換会のみで使用いたします。
参加者については、先着順とし申込締切に関わらず、定員が一杯となり次第締め切りますので、ご了承願います。
申込者が定員に達してお断りする場合のみ、後日、本 F A X 等によりお知らせします。

.....以下 返信欄(記入は不要).....

参加のお申し込みをいただきましてありがとうございます。
申込者が定員に達しましたので、締切らさせて頂きました。
ご理解をお願いいたします。

参加否

周辺地図「岡山第2合同庁舎2階第2会議室」中国四国農政局



【参加申込み・問い合わせ先】

(米粉推進情報交換会事務局)
〒700-8532
岡山市北区下石井1-4-1
(岡山第2合同庁舎)
中国四国農政局生産部生産振興課
(流通)

担当: 安藤(内線2369)
黒川(内線2391)
新見(内線2448)
TEL: 086-224-4511(代)
FAX: 086-232-7225

開催会場へ来庁

- ・ JR岡山駅東口から南へ徒歩7分程度です。
- ・ 駐車スペースがありませんので開催会場へのご来場は、必ず公共交通機関等のご利用をお願いします。